

事務事業外部評価シート

事務事業名	有償バス運行運営事業	担当課・係	交通生活課 公共交通係
-------	------------	-------	-------------

1. 事務事業の概要

事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)	事業目的(働きかける対象は何か？ ・対象をどのような状態にしたいか？)	政策体系(まちづくりの目的・方針)	
基幹線、秋山線、仙波会沢線、野上線、飛駒線、足利線、名水赤見線及び犬伏線の計8路線の運行業務を専門業者に委託して市営バスの運行を行う。	対象 市民 市営バス運行業務受託者	基本目標	地域の特色を活かした快適なまちづくり
		政策	住みやすい快適なまちづくり
		施策	まちなかの活性化と公共交通網の整備
		基本事業	公共交通の利便性の向上
意図 市営バスの運行が利用者にとって安全で定時性の確保ができるよう市営バス運行業務受託者に行わせる。	事業期間		
	昭和57年度～		
	根拠法令・条例等		
	佐野市自家用有償バス条例		

2. 事務事業の外部評価

外部評価委員の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通はまちづくりを考えるうえで非常に重要なものであるため、市の将来を考えて検討をしていく必要があると思われる。 ・市営バスは、交通弱者対策等の社会インフラの1つとして、市が主体となり考えていくべきであると思われる。 ・利用状況を踏まえて、路線の見直しを、関係機関と連携しながら実施していくべきだと考えられる。 ・現在の一律の料金体系については、今後の社会情勢を踏まえながら、見直しを実施していく必要があると考えられる。 ・運行に関して業務委託を導入し、路線の見直しも随時行っているため、事業費は妥当なものと考えられる。 ・一律の料金体系を、高齢者や障がい者、健常者と分けることや距離性にするなど、今後見直しを実施する必要があると思われる。

3. 外部評価委員会としての評価結果

今後の方向性	方向性の内容
事業のやり方改善(成果向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、路線の見直しを図る必要がある。 ・料金体系を一律ではなく、距離等にて検討する必要がある。 ・公共交通網は将来のまちづくりを考えるうえで、非常に重要なものであるため、今後も継続して検討していく必要がある。

4. 評価結果を踏まえての市の検討結果

今後の方向性	方向性の内容
事業のやり方改善(成果向上)	(外部評価のとおり) ・公共交通網形成計画の策定過程において、路線の見直しや料金体系を検討する。